

# TTCの主な活動とSDG s (持続可能な開発目標) について

日本は、超高齢化・人口減少社会、国及び国民の安全・安心の確保、自然災害への対応、サイバーセキュリティ、医療・ヘルスケア、企業経営の効率化等の分野において様々な社会課題を抱えている。

TTCは、これらの社会課題の解決に向けて、情報通信技術（ICT）の目利きや「透明性」「公平性」「効率性」に配慮した国際標準化に貢献するとともに、その普及活動や、ICTを活用した事例の展開等を行っている。

今回、政府の「SDG s 実施指針」の8分野の分類に基づき、TTCの今後の取り組みを整理した。



SDG s (持続可能な開発目標) :  
2015年9月、ニューヨーク国連本部で  
全会一致で採択された2030年を目指した  
17のゴールと169のターゲットから  
構成される開発目標

①あらゆる人々の活躍の推進	②健康・長寿の達成	③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	⑤省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会	⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	⑦平和と安全・安心社会の実現	⑧SDGs実施推進の体制と手段
 <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革を推進する次世代企業通信プラットフォームの実現</li> <li>障がい者、高齢者へのICTを活用したアクセシビリティ注の実現</li> <li>多言語化コミュニケーションによる情報のバリアフリー化の実現</li> <li>アジア各国過疎地域等デジタルデバイスに向けたICT利活用の支援</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>ITUとWHOと連携した健康・医療分野におけるICT利活用事例の展開を推進</li> <li>ICTを活用した遠隔医療、健康管理サービスの実現</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルトランスフォーメーションを実現するスマートシティ、スマートコミュニティ、地域活性化等を支えるIoT共通プラットフォームの実現</li> <li>オープンイノベーションを活性化し新ビジネスの展開や価値創造を促進する産業間連携や人材育成の場の提供</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>利便性、安全性、経済性を両立させたスマートなインフラの実現</li> <li>防災・減災に役立ち、災害に強いICTインフラのグローバル展開の推進</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>2030年のI初ギ-消費効率改善及びCO<sub>2</sub>排出削減目標達成を支えるICT利活用による省エネ・再エネの推進</li> <li>ICTを活用した環境影響評価手法等の開発の推進</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTで効率的なICTを活用したスマート第一次産業（農業、漁業、林業等）の実現</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>安心安全にデータ流通・活用できるプラットフォーム構築に向けた適切なICT利活用の支援</li> <li>IoTの普及によるセキュリティ上のリスクや実施すべき対策等の明確化と企業間連携やサービス開発活動の支援</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT分野におけるグローバルな標準化活動と国際・地域・各国の標準化団体及び国際標準化を目指すフォーラム等とのパートナーシップの推進</li> <li>ホームページやTTCレポート、セミナー等を通じた最新技術や標準化動向の発信</li> </ul>

各柱に対応した以下技術等の動向調査・標準化活動ならびに普及啓発の展開

【中核技術】IoT・AI・ビッグデータ・セキュリティ・ソフトウェア/スライシング・オープンソースソフトウェア・5G/光等ICTインフラ

- アクセシビリティ
- ネットワーク
- eラーニング
- Net119
- IPTV
- 電話リサーチサービス
- デジタルサイネージ

- デジタルヘルス
- eヘルス
- Safe listening
- 脳情報収集・活用
- 8K医療応用

- OneM2M/IoT
- コネクティッドカー
- AI/ML
- VR/AR
- ロビーティクス
- オープンデータ

- Net2030
- 社会インフラモニタリング
- レジリエント防災・減災
- 緊急通報システム
- コンパクトシティ
- VHUBシステム

- HEMS
- BEMS
- スマートコミュニティ
- スマートグリッド
- 環境負荷評価
- 希少金属の再利用
- IoTリアネットワーク

- モニタリング
- センシング

- 情報セキュリティマネジメント
- サイバーセキュリティ
- ソフトウェア
- ブロックチェーン
- 量子暗号通信

- ITU-T
- ISO/IEC
- GSC(グローバル)
- APT/CJK(アジア)
- IEEE/IETF/W3C
- IIC/各種フォーラム

注) アクセシビリティとは、高齢者や障がい者等も含めたあらゆる人がどのような環境においても柔軟にIT環境を利用できるようにすること



2018年は、「日本SDGsモデル」の方向性を踏まえつつ、同モデルの具体化に向けて、『SDGs実施指針』の8分野に関する政府の主要な取組に注力する。これら取組も含め、**官民のベストプラクティスを蓄積・共有し、得られた知見・技術を地球規模に展開**することで、国内外におけるSDGs達成のためのより幅広い取組につなげていく。

- 『経済財政運営と改革の基本方針2018』（抜粋(平成30年6月15日閣議決定)）：  
積極的平和主義の旗の下、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け、貧困対策や保健衛生、教育、環境・気候変動対策、女性のエンパワーメント、法の支配など、人間の安全保障に関わるあらゆる課題の解決に、日本の「SDGsモデル」を示しつつ、国際社会での強いリーダーシップを発揮。
- 『未来投資戦略2018』（要約(平成30年6月15日閣議決定)）：「Society 5.0」の国際的な展開は、世界におけるSDGsの達成に寄与。企業による取組を支援し、国連STIフォーラム、2019年に日本で開催するG20や、国連ハイレベル政治フォーラム(特に、首脳級会合)において、積極的に発信。

『SDGs実施指針』の8分野に関する取組を更に具体化・拡充

※取組の詳細は次頁以降に掲載  
(青：『SDGsアクションプラン2018』にも掲載  
赤：『拡大版SDGsアクションプラン2018』で新規追加)

**①あらゆる人々の活躍の推進**

- 働き方改革の着実な実施
- 女性の活躍推進
- ダイバーシティ・バリアフリーの推進
- 子供の貧困対策
- 次世代の教育振興
- 消費者等に関する対応
- 若者・子供、女性に対する国際協力
- 人道支援の推進

等



**②健康・長寿の達成**

- データヘルス改革の推進
- 国内の健康経営の推進
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ推進のための国際協力
- 感染症対策をはじめ医療の研究開発
- 食料安全保障と栄養改善に向けたイニシアティブとアプローチ

等



**③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション**

- 知財を通じた貢献、基盤となる技術・データ、人材育成
- 未来志向の社会づくり(「Connected Industries」・「i-Construction」推進等)
- 途上国の科学技術イノベーションや産業化に関する国際協力
- 地方創生や未来志向の社会づくりを支える基盤・技術・制度
- 自治体SDGsモデル事業の実施
- 農村漁村の活性化、地方等の人材育成
- 農業・食品産業のイノベーション推進

等



**④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備**

- 持続可能で強靱なまちづくり(「コンパクト+ネットワーク」推進 防災に資する廃棄物処理・浄化槽等の整備等)
- 戦略的な社会資本の整備
- 「レジリエント防災・減災」の構築や、災害リスクガバナンスの強化等
- 質の高いインフラの推進

等



**⑤省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会**

- 徹底した省エネの推進
- 再エネの導入促進
- エネルギー科学技術に関する研究開発の推進
- 循環型社会の構築(東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性の配慮等)
- 国際展開・国際協力の構築
- 気候変動対策や、気候変動影響評価・適応推進
- 食品廃棄物の削減や活用
- 持続可能な消費の推進

等



**⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全**

- 持続可能な農業の推進や、林業の成長産業化
- 「国立公園満喫プロジェクト」推進
- 世界の持続可能な森林経営の推進
- 地域循環共生圏の構築
- 総合的海洋観測網の構築
- 海洋資源の持続的利用推進
- 海洋ゴミ対策の推進
- PM2.5等の総合対策
- 地球観測衛星を活用した課題解決

等



**⑦平和と安全・安心社会の実現**

- 子どもの不慮の事故、性被害の防止
- 子どもの人権問題への対応
- 女性に対する暴力根絶
- 犯罪や非行をした者の再犯防止
- 公益通報者保護制度の整備・運用
- 「法の支配」の促進に関する国際協力
- 平和のための能力構築
- マネー・ローンダリング、テロ資金供与等対策

等



**⑧SDGs実施推進の体制と手段**



- ・ モニタリング(国連におけるSDG指標の測定協力、統計に関する二国間交流・技術支援等)
- ・ 広報・啓発の推進(「ジャパンSDGsアワード」の実施等)
- ・ 2025年万博誘致を通じたSDGsの推進
- ・ 地方自治体や地方の企業の強みを活かした国際協力の推進
- ・ 市民社会等との連携(ジャパンプラットフォーム、民間活動支援等)
- ・ 国内でSDGs関連の課題解決に取り組む企業の支援
- ・ 環境・社会・ガバナンス(ESG)投資の推進
- ・ 国内資金動員のための途上国における税制・税務執行支援
- ・ 途上国のSDGs達成に貢献する企業の支援
- ・ フューチャー・アース構想の下での研究開発